

# 賀 正

## 「財政の再建と公共サービス水準の維持」の両立をめざして



平成二十二年 元旦

積丹町長 松井 香紀



私たちに求められていることでもあります。

私は、郷土積丹町が保ち続けてきた優れた自然や資源を生かし、そして国や道、町内外の積丹ファンの方々との信頼関係や交流を大切にしながら、町民の皆さんとともに、積丹町の再生への夢をつなぐ町づくりの一つひとつに努力を傾けて参りたいと思います。

新しく迎えた平成22年は、町内全世帯への光ファイバ回線網の整備によるテレビ難視聴対策や防災対策、美国小学校と美国中学校の耐震対策など、住民生活環境と学校教育環境の改善向上のための大きな懸案事業がいよいよ本格化することに大きな期待を寄せております。

これまでの6年間に亘る町民の皆さんの行財政改革への足跡を大切に、長く厳しい町の困難を乗り越え、確かな歩みが続けられますように、町民の皆さんの一層のご協力を心からお願ひ申し上げます。

希望に輝く新春を迎え町民の皆さんのご多幸とご健勝を心から祈念し、年頭のご挨拶いたします。

### 今年の干支は寅!

寅年は西暦を12で割って6余る年となります。

「寅の月」は旧暦の1月、「寅の刻」は午前4時を中心とする約2時間を示します。

「寅」はもともと「動く」の意味で、春が来て草木が生ずる状態を表しているとされています。後に、覚え易くするために動物の虎が割り当てられたそうです。

動物の虎は、皆さんもよく知る動物ですが、20世紀初頭地球上に生息していたトラは10万頭と言われていましたが、現在では4千頭ほどと推測されており減少の一途をたどっています。

さまざまな形で複雑につながりあう生態系の1種類でもなくなると命のつながりが途絶えてしまうこととなってしまいます。

一人ひとりがルールを守り、自然環境を大切にすることが、トラに限らず生き物を守ることにつながっていきます。

できることからコツコツと。今年は何かにトライしてみてもいいでしょう!?

明けましておめでとうございます。

平成22年の新しい年を町民の皆さんとともに元気で迎えられましたことを大変嬉しく思います。

おかげさまで、私も町政を担当してから1年6カ月が経ちました。

町民の皆さんには「財政の再建と公共サービス水準の維持の両立」という当町の大きな課題解決への私の願ひに、いつも真剣に耳を傾けていただけてきました。

昨年は、美国川河川改修事業や小泊海岸環境整備事業、美国漁港越波対策事業など、積丹町にとって長年の懸案でありました国・道の大きな公共事業も新たな一歩を歩み始めました。

町民の皆さんの深いご理解と温かいご支援に心から感謝とお礼を申し上げます。

今年を越えて世界的な経済・金融危機の深刻な影響が続く中で、都市と地方を問わず少子高齢化と人口減少の時代を迎え、国・地方を通じた厳しい財政状況の下で、地方自治体が中心と

なつて、住民と協働し、住民の負担と選択に基づきそれぞれの地域にふさわしい公共サービスの提供をめざす地域主権型社会への着実な時代変革が進みつつあります。

そのことは、自らの市や町や村の課題に対する危機意識と改革意欲を行政と議会と住民が常に共有し、自己決定と自己責任という地方自治体の共通の理念の下に、開かれた行政と開かれた議会の運営や参画を通じて、地域の課題の解決や町の振興に弛まぬ努力を続けていくことが

# 迎春

「小さくても

キラリと光る町づくり」

平成二十二年 元旦

積丹町議会議長

岩本 幹兒



新しい年の初めにあたり、町民のみなさんに謹んで年賀の御挨拶を申し上げます。

みなさんにとって、積丹町にとって、今年がよりよい年でありますように心から祈っております。

平素は町民のみなさんの深い御理解と温かい御支援、御協力のもとに議会運営を始め、議員活動を通じて町政推進に精励できまことに心から感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年一年間を振り返りますと、まさしく多事多難な一

年でありました。九月には私も町議会議員の改選期があり、九名の新議員が選出され、不肖私が議長に再選されましたので議員のみなさんの御協力と町民のみなさんの御鞭撻を賜りましてこの重責をはたすべく決意を新たにしております。

また、それに先立って政権交代が実現し、新たな年が明けたとはいっても、まだ期待と不安が交錯している中であり、新政权には「日本を変える」という国民の期待にこたえることを切に願うものであります。

少子高齢化、過疎化、産業の衰退などの流れは相変わらずとどまることなく、このままでは故郷積丹は時代の流れの中でおしつぶされ、荒廃し、消え去るという状況に陥らないとも限りません。

食糧供給、水源涵養、国土保全など国民の生命を支える重要な役割を果たしている農山漁村がこのまま崩壊していつてしまつては日本の明るい未来なんてあるはずがありません。どこが「美しい国日本」なのでしょう。新政権には地方重視の政策

を強くうちだしてゆくことをねばり強く要請していく所存です。

こうした厳しい状況下にある積丹町ではございますが、積丹町で懸命に生きている町民のみなさんが、何を求め、何を望んでいるのか、それをしっかりと受けとめ町政に反映できるように努力し、小さくても顔の見える、絆の強い、町民にとって安心できるキラリと光る町づくりを目指して頑張つてまいらなければならぬと思っております。

大きく時代が変わろうとしている今日、私たちはいま、積丹町の新しい歴史づくりへと一歩一歩、未来を見すえ、過去の見直すべき点を反省しながら、これからの課題に果敢にそして着実に踏みだしていこうではあります。

今年もみなさんがなによりも健康でありますように、そして、この積丹に新たな時代を築くために、手を携え、知恵と力を結集し、ともに頑張ります。新しい積丹町につくり変えていく主役は町民のみなさん一人一人です。

今年もよろしく願ひいたします。

## 【平成10年】

- ・びくに保育所完成
- ・ニューしゃこたん号就航
- ・「積丹さぶれ」が誕生
- ・長野オリンピック開催

## 【昭和61年】

- ・積丹町合併30周年
- ・積丹トンネル着工

## 【昭和49年】

- ・来岸会館が完成
- ・幌武意「寿の家」が完成
- ・余別漁港荷捌所完成
- ・美国漁港製氷貯氷施設完成
- ・余別児童公園完成

## 【昭和37年】

- ・9・10号台風美国市街400戸浸水

※町内の寅年生まれの方々は、230人で内訳は次のとおりです。

大正3年生	96歳	3人
大正15年生	84歳	40人
昭和13年生	72歳	49人
昭和25年生	60歳	56人
昭和37年生	48歳	25人
昭和49年生	36歳	27人
昭和61年生	24歳	11人
平成10年生	12歳	19人
合計		230人